

評価対象年度	平成28年度	<b>施策評価シート(震災復興用)</b>	政策	5	施策	3	
施策名	3		上下水道などのライフラインの整備	施策担当 部局	環境生活部, 土木部, 企業局		
「宮城県震災復興計画」における体系	政策名	5	公共土木施設の早期復旧	評価担当 部局 (作成担当 課室)	企業局 (水道経営管理室)		
		【公共土木施設】					

<b>施策の方向</b> (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の行動方針)	<b>① 下水道の整備</b> ◇ 流域下水道においては、長寿命化支援制度に基づく計画の策定や下水道施設の補修・修繕を実施し、施設の老朽化対策や延命化によるコスト削減を図り、耐震化等の機能向上を含めた長寿命化対策を計画的に推進する。また、工業団地や住宅団地整備に伴う流入量増加を見込んだ水処理施設の増設工事を実施する。
	<b>② 広域水道、工業用水道の整備</b> ◇ 広域水道及び工業用水道の安定供給を図るため、耐震化及び緊急時のバックアップ機能を担う連絡管の整備促進を図る。

決算(見込)額 (千円)	年度	平成26年度 (決算額)	平成27年度 (決算額)	平成28年度 (決算(見込)額)	平成29年度 (決算(見込)額)
	県事業費		8,826,449	7,944,427	11,963,807

※決算(見込)額は再掲分含む

<b>目標指標等</b>	<b>■ 達成度</b> A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」 C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で、判定できない」											
	<b>■ 達成率(%)</b> フロー型の指標: 実績値 / 目標値 ストック型の指標: (実績値 - 初期値) / (目標値 - 初期値) 目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値 - 実績値) / (初期値 - 目標値)											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>初期値 (指標測定年度)</th> <th>目標値 (指標測定年度)</th> <th>実績値 (指標測定年度)</th> <th>達成度 達成率</th> <th>計画期間目標値 (指標測定年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業の進捗率(%)</td> <td>0.8% (平成25年)</td> <td>37.8% (平成28年)</td> <td>37.8% (平成28年)</td> <td>A 100.0%</td> <td>64.0% (平成29年)</td> </tr> </tbody> </table>		初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)	1 緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業の進捗率(%)	0.8% (平成25年)	37.8% (平成28年)	37.8% (平成28年)	A 100.0%
	初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)							
1 緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業の進捗率(%)	0.8% (平成25年)	37.8% (平成28年)	37.8% (平成28年)	A 100.0%	64.0% (平成29年)							

平成28年 県民意識調査	満足群の割合 (満足+やや満足)	不満群の割合 (やや不満+不満)	満足群・不満群 の割合による 区分
	42.1%	18.8%	I

※満足群・不満群の割合による区分

- I: 満足群の割合40%以上  
かつ不満群の割合20%未満
- II: 「I」及び「III」以外
- III: 満足群の割合40%未満  
かつ不満群の割合20%以上

■ 施策評価（原案）		概ね順調
評価の理由		
目標指標等	<ul style="list-style-type: none"> <li>指標「緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業の進捗率」は、計画通り工事の着手ができたことから達成率は100%であり、達成度は「A」に区分される。</li> </ul>	
県民意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下水道などのライフラインの復旧や施設等の耐震化及びバックアップ機能の整備等については、身近な問題として県全体の71.7%に高重視群であると認識されている。その施策に対する満足度については42.1%と県全体のおよそ半数が満足群の回答をしており、不満群については18.8%となっていることから順調であると判断する。</li> </ul>	
社会経済情勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道事業について、東日本大震災により被災した県管理の流域下水道事業は、平成25年度までに本復旧が完了した。</li> <li>上水道事業について、東日本大震災により被災した県管理の水道用水供給事業、工業用水道事業は、平成24年度までに本復旧が完了したが、沿岸部の市町管理の上水道施設においては、復興まちづくり事業等との進捗に合わせた調整が必要であることから、未だ復旧が完了していない地域もあり、早期の復旧が望まれている。</li> <li>県管理の流域下水道事業、水道用水供給事業、工業用水道事業については、今後の地震に対する耐震化対策等や長寿命化対策が望まれている。</li> </ul>	
事業の成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>流域下水道施設においては適宜補修・修繕を実施し、施設の耐震化等による機能向上や老朽化・長寿命化対策工事(処理場・ポンプ場・管渠)を実施した。また、北上川下流流域においては流入量増加に対応のため処理場施設の増設工事に着手した。</li> <li>広域水道の緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業については、入札不調等により工事完成が遅れているが、計画した発注件数は着手することが出来た。</li> <li>広域水道及び工業用水道の基幹土木施設及び水管橋の耐震化については、入札不調等により工事完成が遅れているが、計画した箇所について着手することが出来た。</li> <li>以上のことから施策の目的である「ライフライン整備」については「概ね順調」と判断する。</li> </ul>	

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

施策を推進する上での課題と対応方針（原案）	
課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>流域下水道、広域水道、工業用水道の復旧は完了したが、市町所管の上下水道施設においては、今後も復旧支援の継続的な取組が必要である。</li> <li>復旧が完了した施設及び被害を受けなかった施設についても、今後の地震動に対する耐震化対策等の整備が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町所管の上下水道施設については、引き続き復旧支援事業の継続を図る。</li> <li>施設の耐震化対策や延命化対策により施設の機能向上を計画的に実施する。また、緊急時におけるバックアップ機能対策について整備促進を図る。</li> </ul>

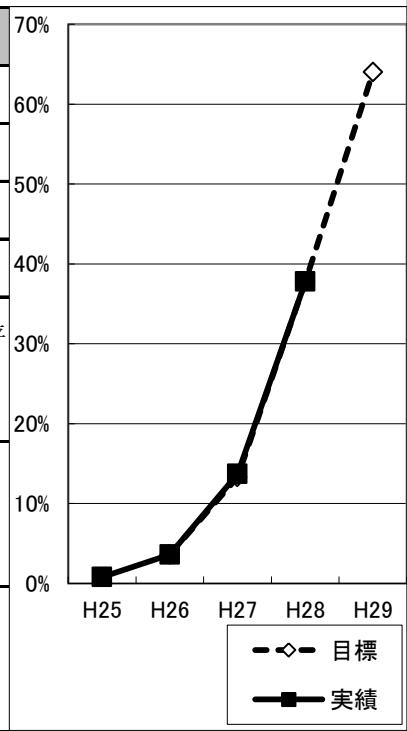
評価対象年度 平成28年度

政策 5 施策 3

**目標指標等の状況**

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)  
 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値-実績値)/(初期値-目標値)

1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H26	H27	H28	H29
	緊急時バックアップ用の広域水道連絡管整備事業の進捗率(%) [ストック型の指標]	指標測定年度	H25	H26	H27	H28	H29
		目標値	-	3.6%	13.3%	37.8%	64.0%
		実績値	0.8%	3.6%	13.7%	37.8%	-
		達成率	-	100.0%	103.2%	100.0%	-
目標値の設定根拠	・今後の地震動に対して緊急時(漏水時)における送水停止防止対策として、広域水道の連絡管を整備し安全で安定的な用水供給を行うこととし、平成26年度より工事に着手し、平成31年度までに事業の完了を目指す。						
実績値の分析	・広域水道連絡管整備事業について平成28年度までに全体計画のうち37.8%着手することが出来た。						
全国平均値や近隣他県等との比較	-						



評価対象年度 平成28年度

政策 5 施策 3

県民意識調査結果									
調査実施年度 (調査名称)			平成26年度 (平成26年県民意識調査)		平成27年度 (平成27年県民意識調査)		平成28年度 (平成28年県民意識調査)		
県 全 体	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	47.5%	78.7%	42.9%	73.9%	36.9%	71.7%
		やや重要		31.2%		31.0%		34.8%	
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	4.9%	5.8%	5.0%	6.0%	6.2%	7.5%
		重要ではない		0.9%		1.0%		1.3%	
		分からない		15.5%		20.1%		20.8%	
		調査回答者数		1,729		1,777		1,819	
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	13.2%	49.0%	11.4%	45.1%	8.0%	42.1%
		やや満足		35.8%		33.7%		34.1%	
		やや不満	不満群 の割合	12.7%	16.9%	12.2%	16.4%	14.8%	18.8%
		不満		4.2%		4.2%		4.0%	
		分からない		34.1%		38.6%		39.1%	
		調査回答者数		1,703		1,758		1,796	
沿 岸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	50.5%	79.0%	43.8%	75.6%	39.6%	72.8%
		やや重要		28.5%		31.8%		33.2%	
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	5.1%	6.0%	5.0%	6.2%	6.0%	7.3%
		重要ではない		0.9%		1.2%		1.3%	
		分からない		15.0%		18.2%		19.9%	
		調査回答者数		673		664		704	
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	15.7%	50.0%	11.6%	45.7%	6.8%	41.8%
		やや満足		34.3%		34.1%		35.0%	
		やや不満	不満群 の割合	12.9%	18.1%	12.1%	17.5%	15.8%	19.5%
		不満		5.2%		5.4%		3.7%	
		分からない		31.8%		36.8%		38.7%	
		調査回答者数		667		663		695	
内 陸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	45.7%	78.6%	41.9%	72.7%	35.4%	71.0%
		やや重要		32.9%		30.8%		35.6%	
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	4.9%	5.8%	5.1%	6.0%	6.5%	7.8%
		重要ではない		0.9%		0.9%		1.3%	
		分からない		15.5%		21.2%		21.2%	
		調査回答者数		1,023		1,073		1,090	
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	11.4%	48.4%	11.2%	44.3%	8.6%	42.0%
		やや満足		37.0%		33.1%		33.4%	
		やや不満	不満群 の割合	12.5%	16.0%	12.5%	15.9%	14.3%	18.6%
		不満		3.5%		3.4%		4.3%	
		分からない		35.7%		39.8%		39.4%	
		調査回答者数		1,004		1,057		1,078	

※ 沿岸部 : 沿岸15市町  
内陸部 : 沿岸部以外の市町村

評価対象年度	平成28年度
--------	--------

政策	5	施策	3
----	---	----	---

宮城県震災復興推進事業										
評価番号	事業番号	事業名	平成28年度決算見込額(千円)	事業の状況						
		事業主体等	特記事項	事業概要			平成28年度の実施状況・成果			
1	① 01	流域下水道事業	2,160,414	流域下水道の流入量の増加と施設の老朽化に対応するため、整備を行う。			・流域下水道事業を行う全7流域において、処理場・ポンプ場・管渠施設の長寿命化・更新工事を実施した。 ・北上川下流流域において、流入量の増加に対応するため、処理場施設の増設に着手した。			
		土木部 下水道課	ビジョン 関連：取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
			妥当	成果があった	効率的	維持	3,486,167	2,351,058	2,160,414	-
2	① 02	流域下水道事業(維持管理)	5,480,020	清潔で良好な生活環境の確保と水質の保全を図るため、流域下水道施設の適切な維持管理を行う。			・維持管理指定管理者制度により、流域下水道施設(7流域)の維持管理を実施。 仙塩流域、阿武隈川下流流域、鳴瀬川流域、吉田川流域、北上川下流流域、迫川流域及び北上川下流東部流域下水道施設			
		土木部 下水道課	ビジョン 関連：取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
			妥当	成果があった	効率的	維持	5,169,546	5,349,146	5,480,020	-
3	① 03	流域下水道事業(調査)	35,823	自然災害に対してより強固かつ柔軟な対応を可能とするための業務継続計画、被災地復興計画等を反映した事業計画等の策定及び調査を実施する。			・仙塩、阿武隈川下流、鳴瀬川、吉田川、及び迫川流域において、事業計画の上位計画に位置づけられる全体計画の見直しを行った。			
		土木部 下水道課	ビジョン 関連：取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
			妥当	成果があった	効率的	維持	25,106	33,508	35,823	-
4	② 01	水道施設復旧事業	77	震災で被害を受けた市町村所管の水道施設について復旧支援を行う。			・特に被害が大きく復旧計画の総合的な調整が必要のため、「協議設計」箇所として実施が保留されている沿岸市町の復旧事業のうち、協議が整った61事業で約76億円の保留を解除した。			
		環境生活部 食と暮らしの安全推進課	ビジョン 関連：取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
			妥当	成果があった	効率的	維持	110	49	77	-
5	② 02	広域水道緊急時バックアップ体制整備事業	2,877,539	安全で安定的な水道用水の供給を図るため、緊急時におけるバックアップ用の連絡管の整備を行う。			・送水連絡管布設工事について工事契約を4件実施したが、入札不調等があり当初予定していた契約件数に達しなかった。 ・測量設計について概ね完了した。			
		企業局 水道経営管理室	ビジョン 関連：取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)		
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
			妥当	成果があった	効率的	維持	43,815	181,750	2,877,539	-

6	② 03	広域水道基幹施設等耐震化事業	822,816	事業概要				平成28年度の実施状況・成果			
				安全で安定的な水道用水の供給を図るため、調整池や浄水場等の基幹水道構造物の耐震化工事を行う。				・大崎広域水道麓山第一調整池の片池分について耐震補強工事を完成させた。 また、仙南・仙塩広域水道着水井の耐震補強工事を発注し着手した。			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
	水道経営管理室	ビジョン 関連:取組31	妥当	成果があった	効率的	維持	14,613	17,646	822,816	-	
7	② 04	工業用水道基幹施設耐震化等事業	587,118	事業概要				平成28年度の実施状況・成果			
				工業用水を安定的に供給するため、管路、施設等の基幹水道構造物について耐震化工事や緊急時におけるバックアップ用の施設の整備を行う。				・仙塩工業用水大楯配水池の耐震補強工事を実施した。 ・仙塩、仙台北部工業用水において伸縮可撓管の補強工事を実施した。 ・仙台北部工業用水桔梗平配水池の耐震補強実施設計を実施した。			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
	水道経営管理室	ビジョン 関連:取組31	妥当	成果があった	効率的	維持	87,092	11,270	587,118	-	
決算(見込)額計			11,963,807								
決算(見込)額計(再掲分除き)			11,963,807								